

令和6年度 体力向上における各校の取組みと成果(小学校)

小浜市

教育委員会

No	学校名		項目	具体的な取組み	成果
1	小浜	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	1年を通して、業間マラソン、なわとび、器械運動に取り組み、運動習慣の育成を図る。まとめの活動として、マラソン大会・器械運動発表会・なわとび大会を実施した。	マラソン大会やなわとび大会では毎時間ごとに目標を設定した結果、目標に向けて頑張れた児童の割合が9割を超えていた。
2	雲浜	小学校	本校の体力向上の取組みについて	授業前のランニングとサーキットトレーニング	今年度の体力テストにおいて、授業前のランニングや業間マラソンの取組みにより、「20mシャトルラン」の結果が向上した。全国平均と比較すると、ほとんどの学年で高い数値を記録した。
3	西津	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	「プレイパーク」という環境を作り、遊びながら体力向上ができるようにした。	プレイパークはとて多くの子どもが楽しんで活用した。教室でプレイパークを作ったクラスもあった。
4	内外海	小学校	本校の体力向上の取組みについて	業間マラソンで5分間走を行った。スプレッドシートに継続して記録をしたり、タイムを測定したりした。	継続して行うことで持久力が向上し、マラソン大会で中・高学年の平均タイムが昨年度より速くなった。また、体力テストのシャトルランでは、3～6年の男女とも全国平均を上回った。
5	小浜美郷	小学校	本校の体力向上の取組みについて	週3回業間運動「トコントンタイム」を設け、晴天時は時間走、雨天時にはなわとびを行い、8分間の運動時間を確保する。	児童の学校評価アンケートの運動への取り組み方の回答が年々良化しており、マラソン大会やなわとび大会など、行事に向けた練習を頑張っている。
6	今富	小学校	本校の体力向上の取組みについて	なわとび大会の技跳びで出場する技を、なわとびカードで合格した技とすることで、個人の技術向上を図った。	技術の向上を目指し、休み時間や体育の時間に仲間と教え合いながら練習している姿が多く見られ、上位の技を習得する児童がたくさん現れた。

7	口名田	小学校	本校の体力向上の取組みについて	記録会などの各種大会への参加を通じて、より高い目標に向かって自分を鍛えることのできる児童の育成を図った。	業間運動や体育的行事に向けて目標を設定し、達成を目指して努力しているかという本校のアンケート結果では全校生100%ががんばれたと回答した。それぞれが目標を設定することで、自分を鍛えようとする姿が見られた。
8	中名田	小学校	本校の体力向上の取組みについて	年間を通して、火曜日と金曜日の業間にマラソンを行った。また、雨天等で実施できないときや縄跳び大会の前には、縄跳び(持久跳び)を行った。	マラソン大会では、全児童が完走することができた。なわとび大会で、特に高学年は、11名中、9名が目標の10分間を跳びきることができた。
9	加斗	小学校	本校の体力向上の取組みについて	週4日、業間に5分間マラソン(晴天時)、7分間なわとび(雨天時)を行う。	年間を通して行うことで、決められた時間内に走ることが出来る距離が伸びた姿や4月当初よりも長い時間継続して跳べるようになった姿が見られるようになった。